

<事業者向け> 2019年度 放課後等デイサービス自己評価表 (数字は100%で表示しています)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など (◎は結果を受けての感想や実績、今後の対応)	
						意見	改善策
体制・ 体制整備	1 利用定員が指定訓練室等スペースとの関係で適切であるか	44.4%	22.2%	11.1%	22.2%	・基準以上 ・20名以上の設計となっている。	定員20名を想定しての設計であることを知らせる。
	2 職員の配置数は適切であるか	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	・基準以上の配置がなされてある。	配置基準を知らせる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	・点字ブロック、フラットな床面 ・身障トイレ、バリアフリーの設計になっている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	22.2%	55.6%	11.1%	11.1%	・上半期の反省を行うなどしているが、広く職員が参画となると不十分。行事も反省会やまとめまで担当が行っていないのでは？	振り返りが弱いので、反省会まで行う。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	・昨年まではアンケートをとっただけ？ ・都度いただく意見は改善努力をしているが、評価表の結果に対して取り組みが遅かったと反省。今回より、計画を立てて実施する必要がある。 ・評価表を保護者に配っている。	アンケート結果で、改善の必要なものについては具体策を考えて取り組む。
	6 この自己評価の結果を、事業所の広報やホームページ等で公開しているか	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	・法人のホームページに記載しています。	全員、ホームページを見る。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0.0%	33.3%	55.6%	11.1%	・第三者委員会の評価については法人としても課題。 ・⑤におなじ？	まだ取り組んでいないことを知らせる。将来的には受けるようにする。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	・外部研修及び勉強会を実施している。 ・取り組み始めた。継続が大事と考える。 ・勉強会を始めた。継続したい。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%	・アセスメントに不十分さあり。今後作成していく。 ・アセスメント不足	アセスメントを確実に実施する アセスメントが個別支援計画にどう結びついているかをケア会議で理解する。
	10 子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	・アセスメントシートがざっくりとしているため、日々の関わりのなかでアセスメントをしている。 ・評価表がない ・視覚支援のアセスメント表がない	標準化されたアセスメントツールについて知らせる。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	・担当が行っているのかは知っているが、きちんと話し合いの時間を設けているのか？ ・月の計画を担当が立て、他職員の意見を確認してもらい作成している。	未回答の意見について知りたい
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	・「同じパターンのくり返し」という発言をたまに聞く。 ・その週の活動内容を確認しながら、あまり重ならない、または、同じ活動でも別のねらいを立て、実施した。 ・年齢や曜日固定などに考慮し、活動を発展させる必要がある。	職員の質の向上を図り、工夫していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11.1%	66.7%	0.0%	22.2%	・少しずつ取り組めてきていると思う。 ・きめ細やか？ ・個別に対しての支援不足を感じる。	個別の支援に力を入れていく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	44.4%	44.4%	0.0%	11.1%	・個別活動の時間が短い。 ・個々の障がい特性に特化した支援が必要だと思う。	放課後等デイサービス計画について知らせる
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	・朝礼を活用し、活動のねらい等を他職員に周知している。 ・忙しいからという理由で流してしまうことがあった。	朝礼は必ず行うようにする
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	・翌日の朝礼にて、活動の反省を行い、改善点や、情報の共有を行った。 ・その日は実施が難しいため、翌日の朝礼時の際に反省を行っているが、長期休暇中は行っていない。	その日の内に行うことはないが、翌日には必ず行うようにする。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	22.2%	66.7%	0.0%	11.1%	・「正しく記録をとる」「検証・改善につなげている」となると不十分。 ・過去の記録を読むと支援の内容が書かれていないものがある。	記録について、時々チェックを入れるようにする。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	・本年度は遅れ気味であった。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	44.4%	22.2%	0.0%	33.3%	・年に一回はガイドラインの読み合わせを行った方がよい。	ガイドラインにおける基本活動を知る。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	・学校や家庭の時間に合わせると、職員が現場を離れられない現状がある。	必ず児発管が出席していることを知る。その
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	・学校にもよる。	積極的に働きかけていく。
	22	小学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	22.2%	22.2%	11.1%	44.4%	・相談支援専門員によって異なる。	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	33.3%	22.2%	0.0%	44.4%	サポートブックの作成	今後も卒業生に対してはサポートブックの作成を行っていく
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33.3%	44.4%	0.0%	22.2%	・自閉症のある児童への関わりやアセスメントを行ってもらったが、その後の支援の経過など連携が取れていない。 ・直接うけることはない？	かかわりをもった時には知らせる。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	・行事としては年1回だが、年々活発になっている ・もっと増えても良い	年に一度の交流会の内容を充実させ、交流イベントそのものより交流に力を入れるようにする。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	22.2%	33.3%	22.2%	22.2%	・マップ作り、ボランティア祭り、リサイクル遊びや芋ほりなど、地域との交流および、事業所の開放を行った。	協議会が活動を行っていない事を知らせる
保護者への説明責任等	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	55.6%	22.2%	0.0%	22.2%	・協議会がない	情報交換についてはその都度知らせていく。
	28	保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	55.6%	33.3%	0.0%	11.1%	・チーフ(寺田)が家族会で研修を行った。	家族親睦会で研修を行った。継続できると望ましい。
	29	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	44.4%	33.3%	0.0%	22.2%		どのような説明をしているかを職員に知らせる。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	55.6%	22.2%	0.0%	22.2%		行った場合には情報共有を行う。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	55.6%	33.3%	0.0%	11.1%	・年1回実施しているが、回数が妥当か分からない。個人的には良いと考える。	アンケート等から保護者のニーズを探る。場合によっては支援の強化が必要となる。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	66.7%	11.1%	0.0%	22.2%	・上長、管理や共連携をとり、丁寧に対応した。	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	・写真を多く載せると家族も喜ばれているのではないかと感じるが、支援の内容などももう少し情報発信できればと思う。	
	34	個人情報に十分注意しているか	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%		
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	・構造化など	
非常時等の対応	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	・25に同じ	
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	33.3%	44.4%	0.0%	22.2%	・保護者までできているか？ ・法人で各種委員会が発足し組織的に取り組んでいる。 ・家族に周知ができていない。	保護者への周知に取り組む。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	66.7%	11.1%	0.0%	22.2%	・十分ではない。	回数はこなしているが、どの点が不十分かを話し合い、改善していく。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%		
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	・拘束の記録は？	職員の意識は少しずつ高くなっているが、子どもや保護者への説明の機会を設ける必要がある。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	44.4%	33.3%	0.0%	22.2%	・アセスメントに記載され、対応している。 ・医師の指示書までは貰っていない。	医師の指示書を取るかなど、家族と相談して対応していく。
42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	77.8%	0.0%	11.1%	11.1%	・委員会の指導もあり、改善されている。	共有はできている。回覧が遅くならないような工夫が必要である。	